

下水道使用料の改定について ～下水道事業運営審議会を開催しました～

市の下水道事業は、将来の経営見通しと安定経営に必要な取り組みを『下水道事業経営戦略』としてまとめ、広報のほりべつ1月号では、使用料の改定案についてお知らせしました。

市では、さまざまな意見を参考に方針を決定していくため、昨年12月に『下水道事業運営審議会』を開催し、登別連合町内会、登別消費者協会などの市内各団体や有識者である、日本工学院北海道専門学校[※]の先生や公認会計士の方[※]に出席してもらい、話し合いが行われました。

審議に先立ち、下水道事業の経営見通しや使用料改定を行わなければならない理由、市が現時点で考える改定内容について説明し、使用料改定の必要性などについて審議をお願いしました。

審議会では、引き続き使用料改定の必要性について審議を行い、平成29年2月をめどに、取りまとめた意見を市に提出する予定です。

3月以降も、広報のほりべつで審議会の開催結果をお知らせします。

問い合わせ 下水道G
(☎859052)

審議会での主なQ&A

Q.

平成10年度を最後に、約20年間、使用料の改定が行われなかったのはなぜですか？

A.

景気低迷が長引く中、水道料金の値上げと重ならないよう考えたほか、市民生活への影響に配慮などをした結果、約20年間、使用料を据え置いてきました。

Q.

使用料改定が行われなかった約20年間、下水道事業の経営は大丈夫だったのですか？

A.

約20年の間に、下水道管建設のための借金返済や施設維持費の高まりなどにより、厳しい経営状況が続きましたが、市からの補助や国の制度に基づく借金の借換えなどで、やり繰りしてきました。しかし、そのやり繰りも限界に近づき、使用料改定を行わざるを得ないと考えました。

Q.

使用料改定を行わなければならない背景には、人口減少も影響しているのですか？

A.

市の人口は、平成40年度までの12年間に、約5千人減少すると見込んでいます。人口減少は下水道利用者の減少に直結することから、これも使用料改定が必要となった一因と考えています。

生涯学習人材バンク をご活用ください

市内で文化・スポーツなどを指導している団体や個人、会員を募集している団体の情報をまとめた『生涯学習人材バンク』を、ぜひご活用ください。

登録申請も随時、受け付けていますので、問い合わせください。

設置施設

市役所、各支所、市民会館、市民プール、市立図書館、市立図書館アーニス分館、各青少年会館、老人福祉センター、市民活動センター、若草つどいセンター、総合体育館

※市ホームページにも掲載しています。

問い合わせ 社会教育G

(☎1129)

募集

市長室フリータイム

皆さんが市長と自由に話し合える機会を広げるため、『市長

室フリータイム』を開催します。

まちづくりなどについて、市長と直接会って話してみませんか。

日時 2月22日(水)9時30分～17時

(1人・組につき30分程度)

場所 市役所2階市長応接室、

鷲別公民館、婦人センター、

登別温泉ふれあいセンター

※苦情や要望、提案、個人的な

問題の相談などを目的とした

申し込みはお受けできません。

※申し込みのときに、参加者全

員の氏名・住所・電話番号、

話したい内容を必ずお伝えく

ださい。

※当日は、報道関係者が取材す

る場合があります。

申し込み 2月7日(火)までに企

画調整G (☎6586)

就職セミナー

日時 2月16日(木)13時30分～16

時30分

場所 職業訓練センター

内容 履歴書・職務経歴書作成、

個人面談など

定員 20人(申し込み順)

申し込み 2月13日(月)までに登

別職業訓練協会

(☎1450)